

第 34 回 計測制御検討会 議事録

1. 日 時： 2024 年 6 月 26 日 (水) 10 時 10 分～11 時 30 分

2. 場 所： Web 会議 (ホスト：一般社団法人 日本電気協会)

3. 出席者： (敬称略, 五十音順)

出席委員：遠藤主査(東京電力 HD), 中條副主査(日本原子力発電), 安部(四国電力), 市川(北海道電力),
上田(三菱電機), 内海(三菱重工業), 長田(東芝エネルギーシステムズ), 小田(富士電機), 角木(中部電力),
加藤(東芝エネルギーシステムズ), 芝原(九州電力), 手塚(東北電力), 中野(電源開発), 橋本(関西電力),
藤岡(中国電力), 森本(北陸電力) (16 名)
代理出席者：鳥谷部(日立 GE ニュークリア・エナジー, 小山委員代理), 荒木田(日立製作所, 原委員代理) (2 名)
欠席委員：須藤(横河ソリューションサービス) (1 名)
常時参加：石井(原子力安全推進協会), 小池(東京電力 HD), 白澤(三菱重工業), 峠(三菱電機),
兵藤(日立 GE ニュークリア・エナジー), 田口(関西電力), 福本(東芝エネルギーシステムズ), 星野(東京電力 HD),
堀江(関西電力) (9 名)
説明者：深澤(東京電力 HD), 赤木(原子力エネルギー協議会), 谷川(原子力エネルギー協議会) (3 名)
事務局：上野, 中山, 田邊(日本電気協会) (3 名)

4. 配付資料

資料 No.34-1 原子力規格委員会 安全設計分科会 計測制御検討会 委員名簿
資料 No.34-2 第 33 回 計測制御検討会 議事録 (案)
資料 No.34-3-1 デジタル安全保護系に関する課題に対する今後のアクションプランについて (案)
資料 No.34-3-2 デジタル安全保護系に関する課題検討アクションプラン
資料 No.34-3-3 計測制御設備へのデジタル技術導入に関する規格・基準等の海外調査の進め方

5. 議事

事務局から、本検討会にて私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律及び諸外国の競争法に抵触する行為を行わないことを確認の後、遠藤主査の開催の挨拶があり、その後議事が進められた。

(1) 定足数確認 (代理出席者・オブザーバ承認、議事次第・配付資料確認)

事務局より、代理出席者 2 名の紹介があり、分科会規約第 13 条 (検討会) 第 7 項に基づき、主査の承認を得た。出席者は代理出席者も含めて確認時点で 18 名であり、分科会規約第 13 条 (検討会) 第 15 項に基づく、委員総数の 3 分の 2、即ち 13 名以上の出席という検討会決議の条件を満たしているとの報告があった。その後説明者 3 名の紹介があり、さらに事務局より、配付資料の確認があった。

(2) 委員の変更

事務局より、資料 No.34-1 に基づき、下記委員の変更について紹介があり、新委員候補については、分科会規約第 13 条(検討会)第 4 項に基づき、次回安全設計分科会で承認予定であるとの説明があった。

- ・退任予定 小山 委員 (日立 GE ニュークリア・エナジー) ・新委員候補 鳥谷部 氏 (同左)
- ・退任予定 原 委員 (日立製作所) ・新委員候補 荒木田 氏 (同左)

事務局より、資料 No.34-1 に基づき下記 5 名の常時参加希望者の紹介があり、分科会規約第 13 条(検討会) 第 8 項に基づき常時参加者として承認するかについて、分科会規約第 13 条(検討会)第 15 項に基づき、Web の挙手機能により決議の結果、出席委員の 5 分の 4 以上の賛成で承認された。

- ・鈴木（東芝エネルギーシステムズ）、兵藤（日立GEニュークリア・エナジー）、田口（関西電力）、福本（東芝エネルギーシステムズ）、星野（東京電力HD）

(3) 前回議事録の確認

事務局より、資料 No.34-2 に基づき、第 33 回計測制御検討会 議事録（案）について紹介があり、正式議事録とするかについて、分科会規約第 13 条（検討会）第 15 項に基づき決議の結果、特にコメントはなく、出席委員の 5 分の 4 以上の賛成で承認された。

(4) デジタル安全保護系に関する課題に対する今後のアクションプランについて

遠藤主査及び内海委員より、資料No.34-3シリーズに基づき、デジタル安全保護系に関する課題に対する今後のアクションプラン及び海外調査の進め方について説明があった。

（主なご意見・コメント）

- ・ ATENAからは、デジタルCCFとEMCに関して2名が参加する方向で検討している。両テーマは、安全保護系の規格がどのようになるのか非常に密接に関係するテーマであり、ATENAでも検討を進めているものである。また、原子力規制庁からも参加するという事なので、関連する課題が明確になればこの場で議論ができればよいと考える。
- ・ 国内での課題・要望等に関して、これまでの許認可対応の中で議論になったところとか、課題として整理をしておきたいところについて挙げていただきたいと思う。
許認可対応とは異なるかもしれないが、核計装や放射線モニタもデジタルとして扱うような話になってきているので、そのようなものも懸念される場所なので挙げていただきたい。
フォーマットを送付するので7月5日（金）目途で提出いただき、一旦集約する。
- ・ 今後、議論が具体化していく中で、こうした方がよいとの指摘があれば、検討会に限らず提示してもらいながら進めていきたい。
- ・ このアクションプランのような形で進めていきたいと考えているが、必ずしもこのとおりに進むとは考えておらず、進んだり後退したりすることもあるかもしれないが、協力をお願いしたい。
- ・ 今後、原子力規制庁から常時参加いただくとのことであるが、デジタル安全保護系に限定した出席になると考えるので、他の規格が議題になる検討会とは区別して開催したいと考えている。

(5) その他(今後のスケジュール、他)

1) JEAG4621「安全保護系計器のドリフト評価指針」について

遠藤主査より、JEAG4621「安全保護系計器のドリフト評価指針」の改定ニーズについての確認依頼があった。

（主な議論）

- ・ JEAG4621のドリフト評価指針の検討について、まだ稼働後の運転実績が少なくドリフトデータ収集が進んでいないということもあり、毎年見送ってきている状況にあるが、改定ニーズがあるのかどうか確認したい。
- JEAG4621の改定ニーズということではないが、当社においても長期サイクル運転に向けた検討を開始しているが、ドリフト評価で点数が集まるもの集まらないものとかいろいろ悩みがあるので、別途、相談する機会を設けたいと考えている。
- ・ そろそろ規格を見直す時期がきているということか。
- そのように認識している。
- ・ 改定時期については、来年度くらいにはそろそろ考えたいところか。

→ 長期サイクル運転に関する評価は、今年度あたりでJEAG4621に基づいて評価できるものとできないもの、できないものについてはどのような課題があるのかの整理を終えるくらいのスケジュール感で進めていきたいと考えている。

・ それでは、来年度あたりから規格の改定案の検討に入っても、時期的には悪くない感じか。

→ その様に考える。

・ 少しは改定ニーズが出てきているようなので、来年度くらいから頭出ししてもいいように感じた。

・ 当社で進めているドリフト評価において、30点の点数に満たないものが結構あるので、他の電力事業者にも協力をいただきたいと考えている。

・ JEAG4621改定については、来年度くらいから検討を進める中で、データなどを協力する枠組みなどについて相談していければよいと考える。これについてはメールを送付するので、各電力事業者の意見をいただき、計画していきたい。

2) 遠藤主査及び中條副主査の退任について

遠藤主査及び中條副主査より、退任の挨拶があった。

3) 次回計測制御検討会開催時期について

次回計測制御検討会開催時期については、デジタル安全保護系に関する検討のキックオフとなると思うので、7月下旬か8月上旬くらいの開催で調整することになると考えている。

以 上